

2. 経済学史

マクロ経済で習うこと

| 市場 | 生産物市場 | 貨幣市場 | 労働市場 |
|----|-----------------------|----------------|---------------|
| 供給 | 生産要素 資本、労働 | マネーサプライ | 労働者 (失業率) |
| 需要 | 消費・投資 | 貨幣需要 | 企業 |
| 価格 | 物価 (消費者物価 卸売物価) | 利子率 (国債利回り) | 賃金 (雇用者所得) |

経済学史

古典派

アダムスミス(1723-90) イギリスの法哲学の教授

著書 () 本題は、『諸国民の富の本質と原因に関する研究』

キーワード ()

「私達が食事にありつけるのは精肉店、酒屋、パン屋の博愛心のおかげでなく、彼らの自己利益への配慮のおかげだ」『国富論』(1776)

- ・ 富とは、貨幣(金銀)ではなく国民が年々に消費するいっさいの生活必需品や便益品
- ・ 文明国のもっとも貧しい人でさえ、未開人の国王より多くの消費財を消費している
何が原因か? ()

ピン・マニュファクチュアのたとえ

もし職人が1人だけでピンをつくるなら、一日一本のピンを作るのも容易ではない。しかし、10人の労働者が分担して働けば、1人当たり1日4800本ものピンを作ることができる。

- ・ グループ活動をなぜ行うのか?

1人でやるよりも、大勢でやった方が成果があがるから。

リカード(1772-1823) 証券会社出身 貿易自由化賛成

支配的な理論 重商主義（輸出で稼いで、輸入を制限する）

理論（ ）『経済学および課税の原理』（1817）

| 生産物 1 単位を作る のに必要な労働 | | 国 | |
|------------------------|-----|-------|-------|
| | | 英国 | ポルトガル |
| 生 産 物 | 布地 | 100 人 | 90 人 |
| | ワイン | 120 人 | 80 人 |

布地の価値 = ワインの価値

- ・英国とポルトガルが布地とワインを 1 単位ずつ生産すると何人必要か？
- ・英国が布地、ポルトガルがワインをそれぞれ 2 単位生産し、布地とワインを 1 単位ずつ交換すると、何人必要か？

マルサス(1766-1834) 牧師 貿易自由化反対

貧困や悪徳は社会制度から生ずるのではなく、人口法則の結果。

社会を経験的事実から考えようとした（それまでは、政治的な思想から社会のあるべき姿を考えることが多かった）。

著書（『**人口論**』（1798））

人口は 25 年ごとに等比級数的に増えるが、食料は 25 年ごとに等差級数的にしか増えない。

人口 = 1

食料 = 1

25 歳に、子供を 4 人産むことを想定。需要不足を心配

- ・思うがままに子供を産むのではなく、晩婚によって出生率を下がるのが望ましい。
- ・私有財産制は生産への刺激を与え、子供の扶養義務を親が負えば結婚制度は人口の抑制につながる。

ケインズ vs 新古典派

ケインズと新古典派の大胆なイメージは次の感じ。

| | | | | | |
|------|----|--------|----|-------|-----|
| ケインズ | 公平 | エリート意識 | 政府 | 失業は困る | 情緒的 |
| 新古典派 | 効率 | 弱肉強食 | 市場 | 失業はない | 理性的 |

| | | | |
|------|----------|----------|--------------|
| | 需要 or 供給 | 政府 or 市場 | 財政政策 or 金融政策 |
| ケインズ | | | |
| 新古典派 | | | |

大学教育に置き換えてみると？（新古典派的解釈）

学生は授業料を払って教育サービスを受ける。

授業を受けないのは、学生の実任。

授業についていけない学生に合わせてと進行が遅れる。

単位が取れないのは、能力がないのではなく、自発的にとらない。

ケインズ(1883-1946) (ケインジアン)

民間部門は不安定 = 市場原理だけではだめ = 政府のコントロールが必要

恐慌の原因 = (有効) 需要の不足 非自発的失業 (市場にまかせるだけでは無理)

解決策 = 消費や投資など需要を増やす

新古典派

民間部門は安定的 = 市場に任せれば良い = 政府は小さいほうが良い
 恐慌の原因 = 政府の介入

マネタリズム フリードマン(1912-2006)

政府はなんにもせず、貨幣供給量を一定にすればよい。

貨幣供給量(マネーサプライ) GDP

「貨幣供給量を安定的に増やせば、GDPも安定的に増える」

自然失業率 政府には財政政策では除去できない失業がある。

サプライサイド経済学

企業が活発に活動できるような政策が重要

減税、「小さな政府」

合理的期待形成学派

人々は合理的に行動しているので、政府の政策は無駄に終る。

Q. マネタリストとは何か? マネタリズムが良く分からない。

A. マネタリーとは貨幣のこと。物を買うときはものと反対にお金が動く。普通はものの動きに注目するが、マネタリストはお金の動きに注目する。

「~ist」は「~主義者」という意味。直訳すれば、貨幣主義者。

マルクス(1818-1883)

著書()

シュンペーター(1883-1950)

キーワード()

企業の役割は、馬車の生産台数を増やすことではなく、自動車を作り出すことだ。

よくある質問

Q．経済学にはいろいろな考えがあり、どの考えがいいのでしょうか？答えは一つではないのかな？難しい。

とくに答えはありません。趣味とか思想とかの問題です。そのとき習っている先生の影響とか。効率（新古典派）と公平（ケインズ）と考えるとどちらが好みかわかるかもしれませんが。短期的にはケインズ、長期的には新古典派が正しいとも言われています。

Q．市場経済派か政府介入派か分かれてしまっているけれど、なぜ中立派（というより、両方のいいところをとろうとする派）がないのだろうか。弱点を補ってやった方が不況の脱出はできると思うのに。

政府はそういう感じで取り扱っていますが、「日和見的」とも言われています。

Q．なぜケインズ経済学が経済学の基礎になったのですか。

ケインズはマクロ経済学の創始者。それまでは個人単位で経済学の枠組みを考えていたが、国単位で考える方法を編み出した。

Q．投資って政府だけでなく民間の企業もやるのですか。

投資はだれでもやります。あるお金の使い道には、消費と投資があります。消費は使うこと自体で満足感をえるもの。投資は、使うことで将来の収益を期待するものです。

証券投資 = 株に投資して将来値上がり益を狙う。

公共投資 = 道路や橋を作って、国民みんなの利益になるようにする。

設備投資 = 工場や店舗を作って、より儲かるようにする。